

令和3年度 第1回 熊取町下水道事業経営委員会 町長挨拶

令和3年度 第1回 熊取町下水道事業経営委員会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、委員の皆様方におかれましては、公私ともご多忙にもかかわらず、当委員会の委員をお受けいただき、誠にありがとうございます。

さて、委員の皆様もご承知のとおり、昨今、我が国は、少子高齢化が進行し、人口減少社会へと移行しているところでございます。このような社会的情勢の中、本町におきましても、これらの課題に対応した施策の展開が重要となってきております。

本町下水道事業につきましては、平成元年度からの工事の着手を皮切りに、平成3年度に一部供用開始を開始してから、着実に整備を推進いたしまして、令和2年度末の人口普及率が82.6%となるなど、同時期に公共下水道整備を開始しました近隣市町に比べ高い水準となっております。

また、下水道事業の持続可能で健全な運営を実現するため、平成30年4月に公営企業会計へと移行し、令和3年3月には今後10年間における整備・維持管理及び経営方針を盛り込ん

だ「熊取町下水道ビジョン（経営戦略）」を策定したところです。

その中で、経営戦略における収支見通しでは、人口減少による影響が大きく、事業運営の礎となる下水道使用料の減収が継続して見込まれる一方で、未普及地域への下水道整備、増加していく施設の維持管理や大規模災害への備えなどの投資的事業が必要となっており、現状のままでは安定した事業継続が厳しい状況であり、このような状況が続くと、当年度純利益や資金の確保が困難になると見込んでいます。

健全な事業経営を図るためには、ビジョンの目標で掲げていますとおり、下水道使用料に関して公営企業会計を適用した新たな算定基準の導入とビジョン策定期間内における下水道使用料の見直し検討が必要となります。

そのためにも、委員の皆さまにおかれましては、忌憚のないご意見をお願いしたく存じます。

最後に、委員の皆様方には、本町下水道事業のより一層の充実のために、当委員会を通じまして、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。